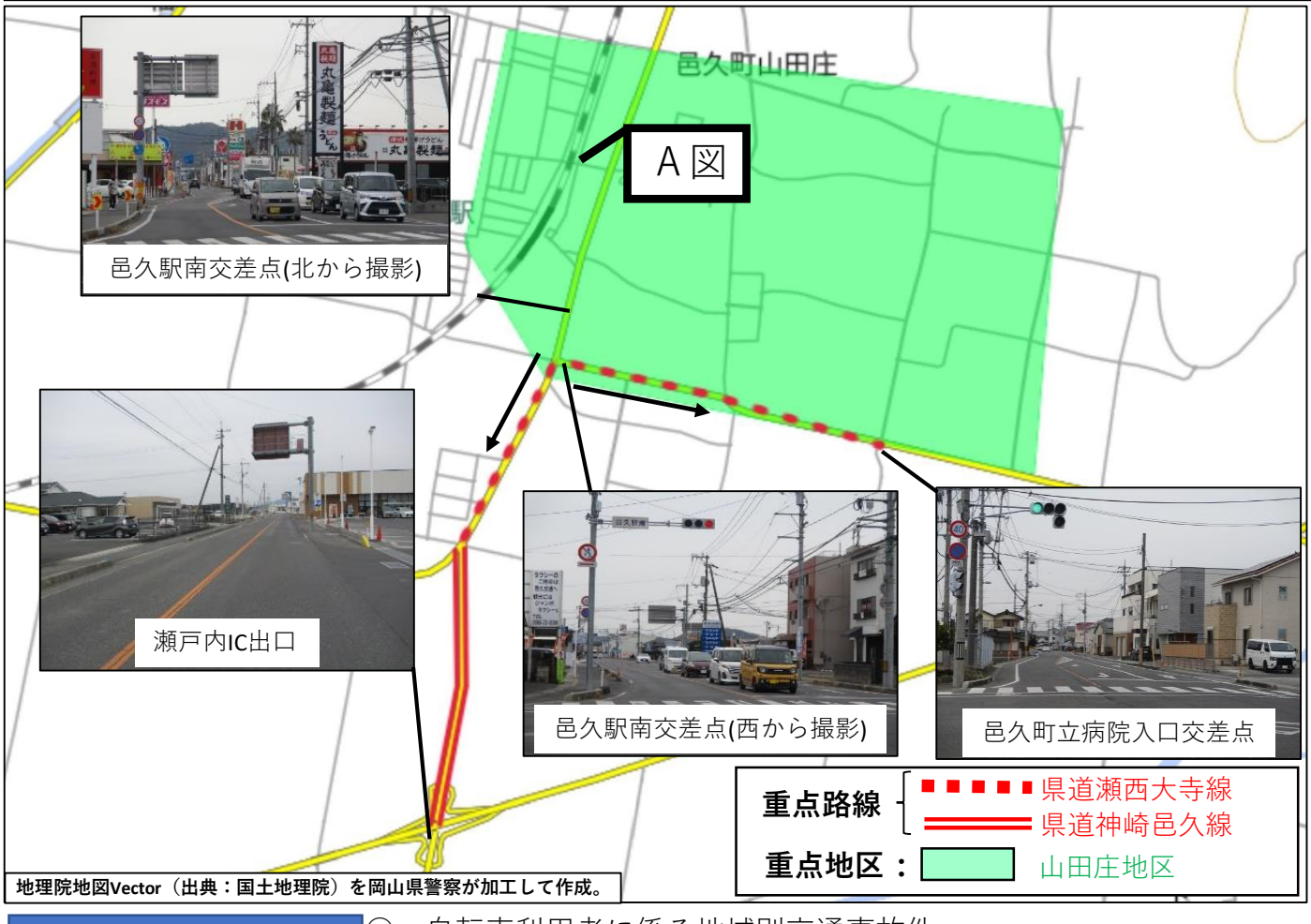
令和８年４月

自転車指導啓発重点地区・路線（瀬戸内警察署）

重点地区・路線名　山田庄地区・県道瀬西大寺線 県道神崎邑久線（邑久町立病院入口交差点～瀬戸内IC出口　約２Km）



地理院地図Vector（出典：国土地理院）を岡山県警察が加工して作成。

重点地区の選定理由





地理院地図Vector（出典：国土地理院）を岡山県警察が加工して作成。

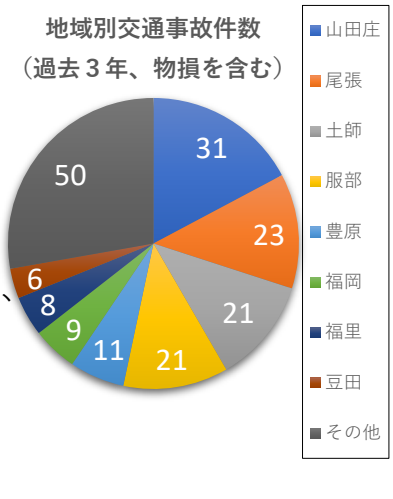
○　自転車利用者に係る地域別交通事故件数については、右グラフのとおり、山田庄地区が最多となっている。

　同地区の事故類型の内訳は31件中10件が出合頭となっており、通学児童も多いことから自転車との交通事故が懸念される。

○　同地区は学校、商業施設が点在しており、自転車利用者や歩行者が多い。

○　A図の交差点は、JRの駅が近いことから、通勤・通学時間帯は、小学生の通学班と自転車等の軽車両が交差する。

　また、同交差点では自転車の一時不停止等の違反を頻繁に指導警告しており、令和７年には飲酒運転の検挙もある。



重点路線の選定理由

○　県道瀬西大寺線・神崎邑久線は、JRの駅や学校、商業施設が建ち並んでおり、管内において最も自転車利用者が多い路線となっている。

○　県道以外で発生の自転車関連事故では、出合頭の発生が多く（右図８件中６件）、通勤・通学時間帯に集中している。また、８件中６件が18歳以下の自転車利用者が当事者となっている。

